

領家中だより

横浜市泉区領家 4-3-1

TEL 811-6641

FAX 812-9645

令和4年 6月 1日

横浜市立 領家 中学校

学校長 熊野 リカ

No. 2

行事を通して身に付ける力

副校長 朝川 健太郎

快晴に恵まれ、3年ぶりに行動制限のない大型連休で多くの人が観光地に訪れる様子が映像で流れ、日常が戻りつつあることを少しずつ実感するようになりました。このまま安定した気候の5月になるのかと思いきや、急に夏のような暑さとなる日もあったり、早々と梅雨入りしそうなくずついた日もあったりして、体調管理も難しい日が続いております。体育祭の練習も予定通りに進まない日が多く、予行練習も2日続けて延期となりました。不安を抱きつつ本番を迎えましたが、当日は快晴の空のもと、予定通り体育祭を行うことができました。昨年、一昨年に引き続き、感染症対策と熱中症対策として半日開催でしたが、生徒たちは一生懸命に自分の種目や係の仕事に取り組んでいました。また、一人ひとりの取組や活動に対して協力したり応援や拍手を送ったりする生徒の姿もたくさん見られました。目標に向かって学級で協力する姿や学年を超えて応援する様子を見ると、体育祭だからこそ身に付けられる力があるのだと実感します。



さて、5月29日に3年生が京都大阪方面への修学旅行に出発しました。5月31日には1年生がソレイユの丘への校外学習を行い、2年生は6月13日より2泊3日の予定で山梨県で自然教室を行います。コロナ禍によって2年間ほとんどの校外学習が中止となっていましたので、生徒にとっても教員にとっても待ちに待った校外学習です。校外学習では、学校生活ではできないような経験をすることによって様々な力を身に付けることができます。学習指導要領には、集団宿泊的行事において次のような資質・能力の育成が考えられると明記されています。

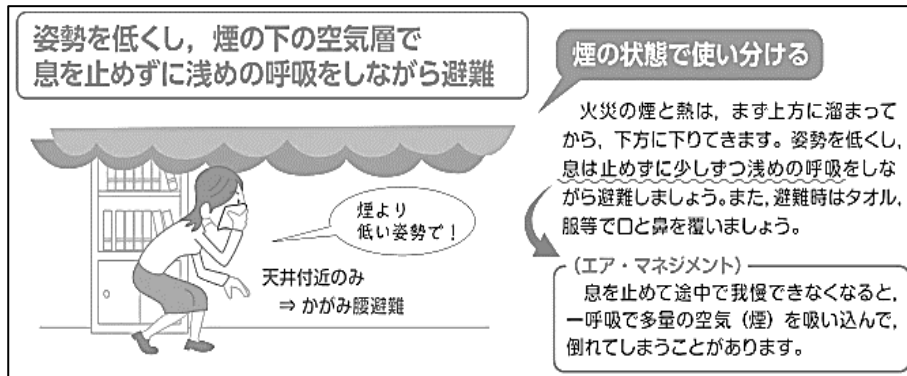
- 豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習成果の成果を活用するように考えることができるようにする。
- 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。

成長するにしたがって生徒を取り巻く環境は、家庭や学校という限られた社会から多様な人々と関わり合う広い社会へと変わっていきます。校外学習を通して、今後の集団生活の在り方について考えを深め、よりよい人間関係を築こうとする態度を身に付けられればと思います。



避難訓練を実施しました

4月22日(金)に、今年度初めての避難訓練が行われました。調理室からの火災が想定され、教職員生徒共々落ち着いて避難することができました。訓練後の教室ではワークシートを使ってふりかえりを行いました。日本では毎年3~4万件の火災が発生し、約1,500人の方が亡くなっています(消防庁HPより)。他人事にせず、自分事にとらえてしっかりと準備することが有事の際の命を守ります。今一度、避難方法の確認をしておきましょう。



(防災担当 遠藤 恵一)

土曜授業参観・懇談会・部活動説明会

4月23日(土)1・2校時に授業参観、その後、学級懇談会、部活動説明会を実施しました。年度当初の土曜日ということもあり、多数の保護者にご参観、ご出席いただきました。保護者アンケートからコメントを紹介します。

- 【1年】明るく活気があり、とても爽やかな学校だと思いました。授業は、先生方も元気良く、生徒たちと笑顔で授業されていて、楽しい雰囲気を感じました。懇談会、校外学習説明会は、分かりやすかったです。自己紹介で、先生やお子さん達のことが少しでも分かり、安心しました。
- 【2年】生徒同士の教え合いの時間が設けられている事がとても良かったです。その過程で更に理解が深まる事が期待できます。私達の時代より教育が高度になり進歩していると感じ、子どもたちの将来が楽しみです。
- 【3年】修学旅行が具体的に進みつつあり、保護者としても気持ちが盛り上がってきました。色々制限があり、中止や縮小が多かった中学校生活でしたが、最後の修学旅行は思いっきり楽しんで、良い思い出を作ってほしいです。

感染症対策として、同時間帯の参観はご家庭より1名のお願いをしました。時間を分けて参観される等、ご理解とご協力に感謝いたします。今後ともよろしく申し上げます。

(教務主任 遠藤美智)

全公立展、全私学展のお知らせ

高等学校の説明会で、全公立展は本年度も中止になりました。神奈川県全私学展は、7月18日(月・祝)にパシフィコ横浜にて実施予定です。入場無料の予定ですが、事前申込制となっております。詳細は、神奈川県私立中学高等学校案内HPをご覧ください。

それぞれの高校における説明会等のお知らせは、それぞれの高校のHP等をご活用ください。

領家一〇^{しん}～激烈魂を燃やしてみないか？～

5月19日木曜日に第37回体育祭を行いました。今年も競技種目を減らし午前だけの開催になりましたが、一人ひとりが全力を出し、気持ちよく終わることができました。雨の影響で予行練習が伸び、前日となってしまいましたが、各委員会や部活動が協力してくれたおかげで、スムーズに準備を進めることができました。

今年のスローガンは「領家一〇^{しん}～激烈魂を燃やしてみないか？～」でした。心の中に秘めた激烈魂をこの体育祭で思いっきり燃やし尽くせたいと思います。そして昨年行うことができなかった領家祭（合唱コンクール）の開催への第一歩になったのではないかと思います。

また、この体育祭にはたくさんの方が協力し準備をしてくださいました。1、2年生にはこのことを忘れずに来年、領家中体育祭を完全復活し、全力で楽しんでほしいです。

（体育祭委員会委員長）

体育祭を終えて

5月19日（木）に第37回体育祭を無事に実施することができました。今年も、昨年度と同じく5月実施。新学年スタートから約1か月半での開催となりました。どの学年、どのクラスも決して充分とは言えない練習時間の中で、精いっぱい練習に臨んでいました。いよいよ本番。2週間前から天候を確認し、「19日は絶対晴れる！」と確信を持ちましたが、2度にわたり予行が延期となりました。ぶっつけ本番になるのかとかなり心配でしたが、前日に予行を行うことができ、そのまま準備、本番と一気に駆け抜けることができました。中学校に入学して初めての行事だった1年生。普段から元気で何事にも前向きに取り組む姿を、体育祭でも見せてくれました。ラジオ体操から競技まで1年生らしくフレッシュに取り組みました。2度目の体育祭となった2年生。上級生として昨年度以上に自主的に取り組み、体育祭を楽しんでいたように感じます。大縄の入場シーンがとても格好良かったです。そして、領家中学校の最上級生として学校全体を引っ張った3年生。練習から熱が入っていて、競技から応援まで、すべてが素晴らしかったです。特に大縄跳びは、今までに見たことのないくらい上手で、どのクラスも一つになって盛り上がっていました。一番印象に残っているのは大トリの色別対抗リレーです。応援席では、みな立ち上がり声を出し、選手たちはそれに応えるかのような熱戦を見せました。領家中が一つになったように感じました。今年の体育祭スローガンである



「 領家一〇^{しん} ～激烈魂を燃やしてみないか？～ 」

を体現するように生徒も先生方も自分の中の激烈魂に火をつけ、全力を出した体育祭だったと感じます。体育祭を通じて学んだことを活かしてこれからの学校生活や行事を成功させていきましょう！最後に、体育祭実行委員の皆さん、これまでの活動お疲れさまでした。学校の中心として準備や運営などを進めた皆の力があってこそ成功した体育祭だと思っています。ありがとうございました。

（体育祭実行委員会担当 高萩 祥太郎）

地区生徒会

4月30日（金）に地区生徒会が開催されました。生徒は自分の住んでいる地区毎に分かれて、地区長や各学年の長などを決めました。各地区の校外委員の方々にもお越しいただき、ご挨拶をいただきました。地区生徒会は例年地区清掃や夏祭りのお手伝いの係決めなどを行います。活動を通して地域の方たちと中学生が触れ合う貴重な機会です。ここ数年活動が中止や延期されましたが、少しずつ活動が再開できれば考えています。7月にもう一度地区生徒会を開催する予定でおります。よろしくをお願いします。

教育実習を終えて・・・

5月9日（月）より、3名の先生が領家中学校で教育実習を行いました。3週間の実習期間にお話した人もたくさんいたのではないのでしょうか。先生方からのコメントを紹介します。

私は実習生の中で唯一領家中学校の卒業生ではないため、学校に馴染みがなく、初めて学校を訪れた日はとても緊張しました。しかし、学校の雰囲気がとてもよく、先生方、生徒たちともにごく優しく、すぐにその緊張は解けました。3週間という短い間でしたが、全学年・クラスの授業をやらせていただき、生徒全員と関わることができたことは、私にとってとても良い経験となりました。私はまだ夢を叶えるための道の途中にいますが、皆さんもそうだと思います。夢を叶えるべく、共に頑張りましょう！本当にありがとうございました！！（音楽科実習生）

私は2年3組で3週間教育実習をさせていただきました。最初は緊張していましたがみんなが明るく話しかけてきてくれて、すぐ学校生活に慣れることができました。この短い期間で多くの人と接することができました。授業が”おもしろい”や”楽しい”と言ってくれた生徒が多く、とても嬉しかったです。この3週間は一生忘れることのない期間になりました。みなさんが次の学年に上がるまでまだ時間があります。遠足や自然教室、修学旅行がこの後ありますね。全力で楽しんでください！学校の外からみなさんの活躍を応援しています！3週間ありがとうございました。（数学科実習生）

3週間という短い期間でしたが皆さんとたくさん関わることができ、とても充実した教育実習になりました。7年前、領家中学校を卒業した時にはこのような形で戻ってこられるとは想像もしていませんでした。学校生活、授業、部活動、何に対しても一生懸命な先生方、生徒の皆さんを見ていて自分も強く刺激を受けました。家族、友達、先生方、地域の人々に感謝し一日一日を大切に過ごしてってください。本当にありがとうございました。（保健体育科実習生）